

# 大切なお知らせ!



子宮頸がん予防ワクチン  
(HPVワクチン)で、  
いのちと女の子の未来を守ろう!

¥0

1997-2007年度生まれの  
女の子は今だけ無料!

## ① 接種券を探そう。

接種券は県内外でも利用できます。

point 1

## ② 子宮頸がんを知ろう。

子宮頸がんは、HPV感染が原因です。  
年間約1000人が30歳までに子宮を失い、  
300人に1人が死亡しています。

point 2

## ③ HPVワクチンを知ろう。

がん予防効果は約9割です。  
副作用かと思われていた痛みや運動機能の障害などの  
多様な症状とHPVワクチンとの因果関係を証明したものはありません。

point 3

point 4

## ④ 安心の診療体制に任せて。

接種後の症状は専門医療機関が  
連携して治すので安心してください。

point 5

## ⑤ 2024年9月30日までに1回目を打とう。

チャンスを逃し自腹で打つと、最大約10万円かかります。

point 6

詳しくはこのリーフレットまたはYouTubeで  
HPVワクチン 私たちにできること



作成・協力  
岡山大学病院  
(中国ブロック拠点病院)

●厚生労働省ホームページ

ヒトパピローマウイルス感染症  
—子宮頸がんとHPVワクチン—

ヒトパピローマウイルス(HPV)  
ワクチンの接種を逃した方へ  
—キャッチアップ接種のご案内—



# SAVE ♥ WOMB

10/1以降は **最大** 10万円、  
マジで自腹になっちゃうよ!

子宮頸がん予防ワクチンで、いのちと女の子の未来を守れ。  
1997-2007年度生まれの女の子は

**今だけ  
無料**

\*:2000年から2005年生まれの子がワクチン未接種の女の子が子宮頸がんで死亡する  
リスクが非常に高い研究報告があります。(Yagi A et al. Sci Rep. 2020)  
私たちは、子宮頸がんでインテリと未来を奪われる女性が一人でも  
少なくなることを願い、HPVワクチンの接種率向上に取り組んでいます。  
シンボルマークは、国立大学法人富山大学芸術文化学部の  
学生のみさんがデザインしました。

# 1. 接種券を探そう。

- ・ ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンは小6から高1までの期間に無料で受けられる定期接種です。
- ・ 1997（H9）～2007（H19）年度生まれの女性には、特別に2025年3月31日まで、期間限定で無料で接種する機会が設けられました。（キャッチアップ接種といいます。）
- ・ 無料の接種券が入ったお知らせが、市町村から住民票のある住所に送られてきています。まだ接種していない方、おうちに**使っていない接種券が眠っていませんか？**

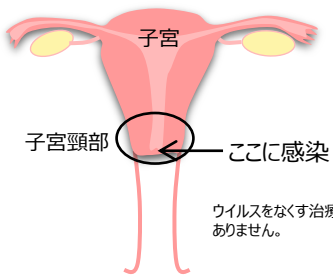
鹿児島県内の接種券をもっている人

県内で接種する機会がない場合、**県外でも接種することができます。** 県内、県外、混ぜこぜでもOK。

鹿児島県外の接種券をもっている人

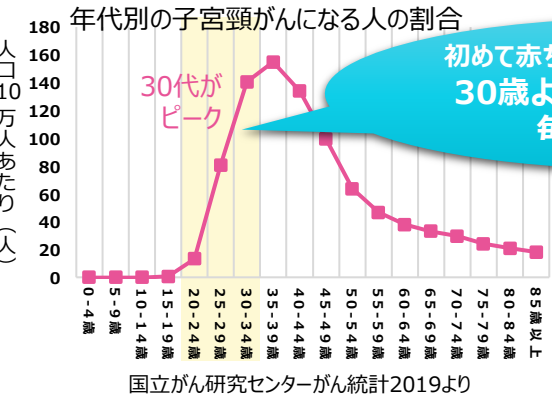
住民票のある**市町村役場に「鹿児島県内でも使える？」と聞いてください！**  
鹿児島県内で接種し、後日費用の全部または一部が戻ってくるなどの方法で券が使える場合が多いです。

# 2. 子宮頸がんを知ろう。



- ・ 性交で8割の女性がヒトパピローマウイルス（HPV）に感染。
- ・ 大多数は免疫力でウイルスを排除 → しかし、何度でも感染。
- ・ 一部の人はウイルスが排除できず、感染から数年～10年ほどで子宮頸がんに至ります。
- ・ がんになる手前で見つけるのが「子宮がん検診」。症状がない初期のうちなら、子宮の「部分切除」で治すことができます。
- ・ しかし「部分切除」後は、早産や不妊のリスクが高まります。
- ・ 最近、検診で見つかりにくいタイプのがん（子宮頸部腺がん）が増加。

**だからワクチンが必要。**



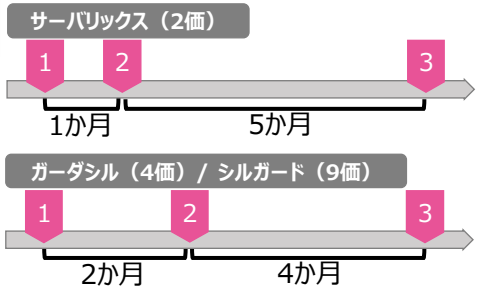
**初めて赤ちゃんを産む平均年齢である30歳より前に子宮を失う女性 毎年約1,000人**

- 生涯で子宮頸がんになる女性 **76人に1人**
- 子宮頸がん で亡くなる女性 **300人に1人**

# 3. HPVワクチンを知ろう。

- ・ **3回の接種で、HPVへの感染そのものをブロック。**
- ・ 性交経験前なら子宮頸がんを約9割予防。
- ・ 性交経験後でも子宮頸がんを約6割予防。
- ・ 効果は12年以上。
- ・ 発がんに関連するHPVには16、18、31、33、45、52、58型など多数の型があり、とくに進行がんでは16、18型が関連する 경우가ほとんどです。

## 接種スケジュール



標準的接種の間隔より期間が開いた場合は、接種医にご相談を！

# 4. 安心の診療体制に任せて。

- ・ 接種部位に赤みや腫れや筋肉痛のような痛みが出ることがありますが、多くの場合1週間程度で軽快します。
- ・ HPVワクチン接種後に、体の痛みや歩行障害などの多様な症状が出たという報告がありましたが、同様の症状は接種していない人にも出現しており、因果関係を証明したものではありません。
- ・ 接種後の痛みなどが不安であれば、接種した医療機関やかかりつけ医、痛みの専門医療機関が連携して診療にあたりますのでご相談ください。



# 5. 2024年9月30日までに1回目を打とう。

- ・ 最も高価な9価ワクチンを自費で接種する場合、1回あたり「約3万円＋税」がかかります。
- ・ 接種機会を逃した女性に無料で行う接種（キャッチアップ接種）は、**2025年3月31日までの期間限定です。**
- ・ 接種に必要な期間は6か月。つまり、9月30日までに1回目を打てば、3回目は3月30日となり、3回とも無料で接種ができます。

